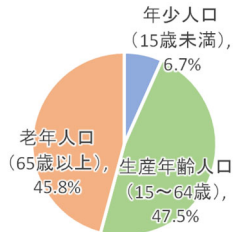


栃谷 (とちだに)

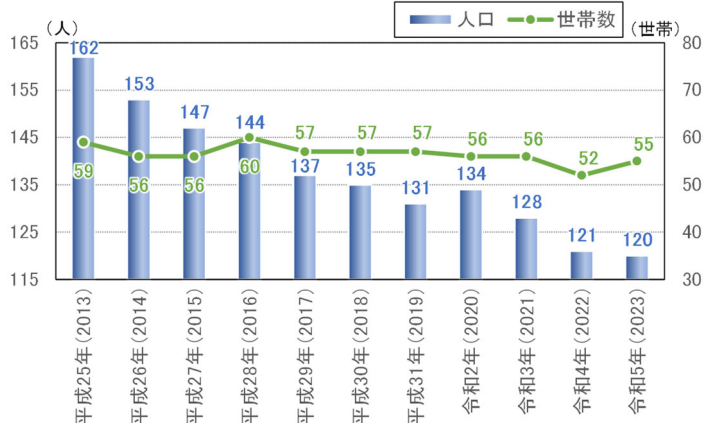
人口・世帯数等 (令和5年4月)

人口	120人
世帯数	55世帯
高齢化率	45.8%

年齢別人口割合



人口・世帯数の推移 (過去10年間)



区域の概要

立地 集落の南側は山が迫り、北側から西側に田畑が広がる農村で、東側の岸田川と西側の田君川の合流地点に位置する。集落の中を主要県道浜坂井土線が走り、西側を県道竹田指杭線が走る。

地名由来 古くは「谷山」とあり、村内にトチの大樹があったことから「栃谷」の名が生まれたとある(『美方郡誌』)が、ガープする突出する部分としての「突」が転じたという地形的な特徴を反映したのではないかと考えられる。(「たじま地名考」日本海新聞)

歴史等 字初瀬谷山頂に戦国末期の栃谷城(おどろが城)の城跡があり、塩冶氏が居城したとされる。

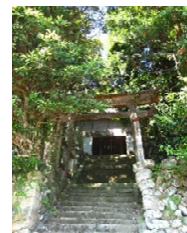
近世の栃谷村は、豊臣政権下では太閤蔵入地(豊臣氏の直轄地)で、江戸時代には、慶長10年(1605)旗本宮城氏知行、正保元年(1645)幕府領、寛文8年(1668)豊岡藩領、享保12年(1727)からは幕府領となった。家数は、宝暦10年(1760)68、嘉永元年(1848)81、天保5年(1834)の『但馬国郷帳』(天保郷帳)の村高は213石余。竹田村と争った徳原山山論、新市・古市・七釜の3か村と争った田君谷山論、七釜村と争った見成谷山論など、農業生産との関わりの深い長期の山争いが多い。氏神厳島神社は、香美町味取との関係も深い伝承が残っている。

明治22年(1889)大庭村の大字となり、昭和29年(1954)からは浜坂町の大字となる。明治24年(1891)の戸数102、人口は男254・女263。

これまで把握している文化財

文化財の件数 30件 (うち指定等文化財 1件)

大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等
有形文化財	建造物	建築物	1	0
		石造物	0	0
		工作物・その他の構造物	0	0
	美術工芸品	彫刻	1	0
		絵画	0	0
		工芸品	11	0
		書跡・典籍	0	0
無形文化財	無形文化財	古文書・歴史資料・考古資料	2	0
		音楽	0	0
		演劇	0	0
		工芸技術	0	0
		その他の無形文化財	0	0
		信仰の場	1	0
		祭具	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財	民具	0	0
		その他の有形の民俗文化財	0	0
		年中行事・民俗芸能	2	1
	無形の民俗文化財	民俗技術	0	0
		食文化	0	0
		民間説話・俗信	2	0
		その他の無形の民俗文化財	0	0
記念物	遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡	1	0
		古墳・その他の墓	7	0
		城館跡・寺社跡	1	0
		街道・古道等	0	0
		戦争遺跡	0	0
		その他の遺跡	0	0
	名勝地	山岳・高原・丘陵	0	0
		海岸・海浜・島嶼	0	0
		河川・滝・渓谷・湖沼	0	0
		公園・庭園	0	0
	動物・植物・地質鉱物	動物	0	0
		植物	1	0
		地質鉱物	0	0
文化的景観	生活・生業・風土により形成された景観地	0	0	
伝統的建造物群	宿場町・城下町・農漁村等	0	0	



栃谷厳島神社



大庭耕地整理記念碑



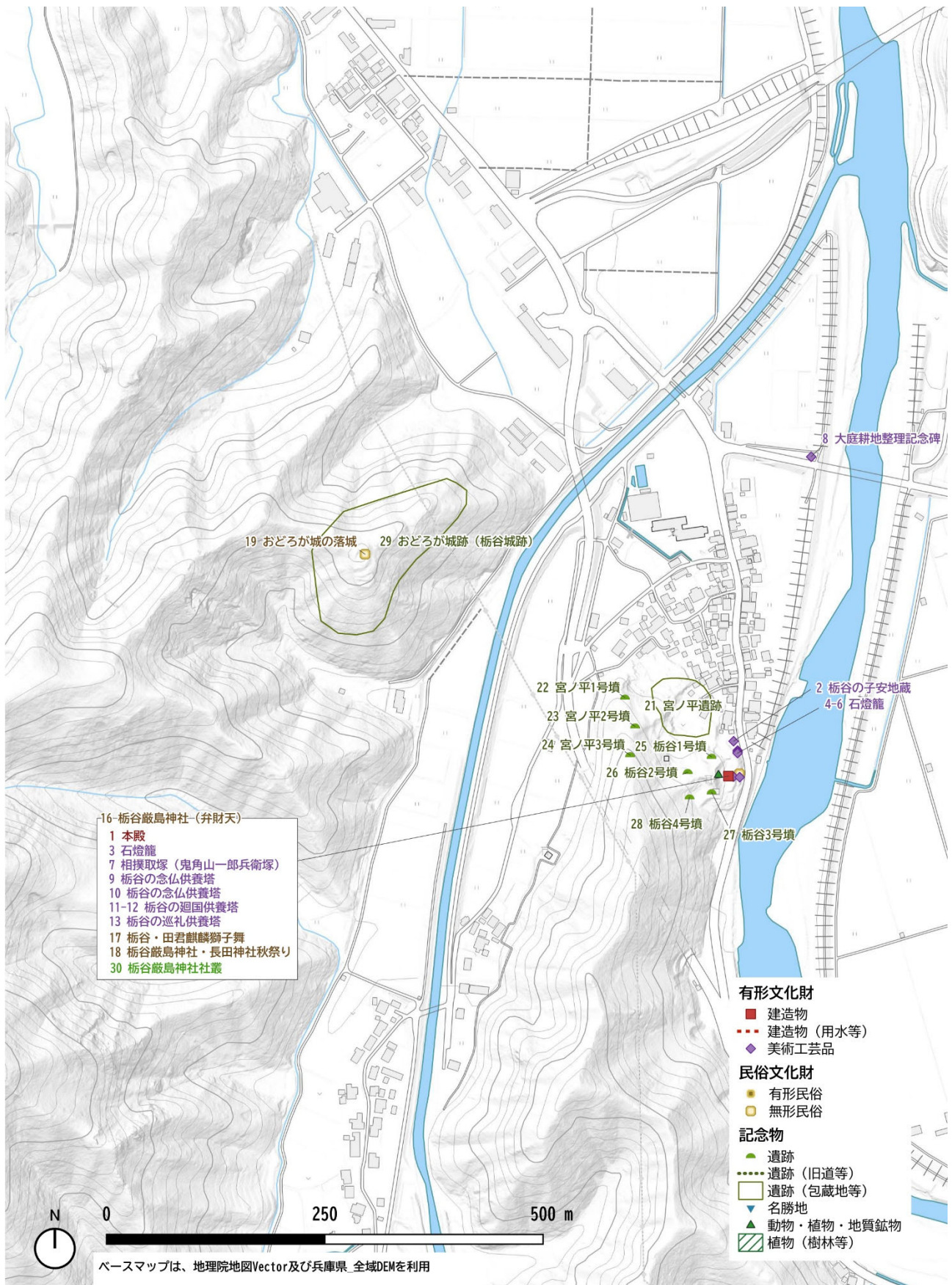
栃谷厳島神社の石燈籠



栃谷・田君麒麟獅子舞(栃谷厳島神社)

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

2-06 栃谷

文化財の一覧

■ 有形文化財／建造物

分類	番号	名称	概要
建築物	1	栃谷厳島神社本殿	欄間には龍、木鼻には獅子、ひじ垂木に銅線を巻いた龍、唐破風懸魚（兎毛通）には鳳凰の彫刻が見られる。丹波柏原の彫物師中井権次橘正次（七代目）の作である。

■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
彫刻	2	栃谷の子安地藏	厳島神社北側の山裾の道路沿いに位置する小祠に安置されている。台座に「子安地藏尊」と刻まれている。年代は不詳。
工芸品	3	栃谷厳島神社の石燈籠 (1780年建立)	安永9年(1780)5月建立。寄進者不明。石材は地場産の砂岩。四角型。基礎は二重。竿は細長く、平面方形で、中位部が細く、下位部が太い。火袋は後補のものであるが、材質が悪く風化している。全高210cm。
	4	栃谷厳島神社の石燈籠 (1863年建立-1)	栃谷厳島神社境内に並び立つ3基の石燈籠のうちの1基。文久3年(1863)9月建立のもの。碑文は「伊勢御神燈」。
	5	栃谷厳島神社の石燈籠 (1863年建立-2)	栃谷厳島神社境内に並び立つ3基の石燈籠のうちの1基。文久3年(1863)8月建立のもの。碑文は「御神燈」。
	6	栃谷厳島神社の石燈籠 (1863年建立-3)	栃谷厳島神社境内に並び立つ3基の石燈籠のうちの1基。
	7	相撲取塚 (鬼角山一郎兵衛塚)	文久2年(1862)8月建立。碑文は「鬼角山一郎兵衛塚」。世話人藤嘉一郎外2名、弟子総代若林七左衛門。
	8	大庭耕地整理記念碑 (1926年建立)	大庭耕地整理は、大正7年(1918)の大洪水を契機として計画され、碑文によると大正9年(1920)に着工、大正13年(1924)に完成。これを記念して大正15年(1926)12月に建立されたものである。
	9	栃谷の念仏供養塔 (1660年建立)	安山岩の自然石型。高さ62cm。万治3年(1660)9月建立。正面中央に「四十八夜回向…」などの字句が読み取れ、近世初期にこの地域にも念仏回向の行事が盛んであったことを物語る。塔の上部が一部欠損している。
	10	栃谷の念仏供養塔 (建立年不明)	安山岩の自然石型。高さ58cm。建立年は不明。主碑銘は「南無阿彌陀佛」。
	11	栃谷の廻国供養塔 (1728年建立)	安山岩の自然石型。高さ150cm。享保13年(1728)10月21日建立。主碑銘は「回国供養□」。願主は栃谷村・久兵衛。
	12	栃谷の廻国供養塔 (1739年建立)	安山岩の自然石型。高さ88cm。元文4年(1739)9月建立。主碑銘は「奉納日本回国供養塔」。「天下泰平、国土安全」の文字も刻まれている。願主は栃谷村・仁兵衛。
	13	栃谷の巡礼供養塔 (明治期建立)	安山岩の自然石型。高さ60cm。明治期の建立であるが、建立年は判読できない。主碑銘は「西国八十八ヶ所巡拝者中井清治郎」。
古文書・ 歴史資料・ 考古資料	14	但州二方郡栃谷卿薬師如 来由来記録	奥谷のお薬師さんの由来が記された古文書。
	15	栃谷村文書	江戸時代初期から大正時代を中心としたの栃谷村の文書。合計588点(近世の文書355点、近代の文書233点)

■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	16	栃谷厳島神社(弁財天)	祭神の弁財天女は大野原城主阿瀬石見守藤原家重の息女とされる。木に登って天に拝むと水晶の数珠が降りくだるなど、数々の神業をしたという。天女は88歳の天寿を全うし、世を去る際、大井手の山の端(現在の厳島神社の場所)に私を弁財天として祭り、七年後にお祭りを行えば、村中の悪事災難を救ってやると言われたので、その通りに祀ったと伝わる。

■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
年中行事・民俗芸能	17	栃谷・田君麒麟獅子舞	10月13日の長田神社・巖島神社例祭で奉納される。三段舞、片付けの舞（門付け）がある。栃谷田君麒麟獅子保存会により傳承されている。 国指定重要無形民俗文化財（「因幡・但馬の麒麟獅子舞」として）
	18	栃谷巖島神社・長田神社秋祭り	10月第2日曜日に行われる。榊の門付、獅子舞、子供みこしなど。
民間説話・俗信	19	おどろが城の落城	※『但馬の城』（昭和50年、但馬の城編集委員会編集、但馬文化協会発行）p138参照
	20	竹田村境の話	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p163参照

■ 記念物／遺跡

分類	番号	名称	概要
散布地・集落跡・生産遺跡等	21	宮ノ平遺跡	弥生時代の散布地。弥生土器片数点が散布。
古墳・その他の墓	22	宮ノ平1号墳	古墳時代の古墳。方形（階段状）。平坦面がある。
	23	宮ノ平2号墳	古墳時代の古墳。方形（階段状）。平坦面がある。
	24	宮ノ平3号墳	古墳時代の古墳。方形（階段状）。平坦面がある。
	25	栃谷1号墳	古墳時代の古墳。全壊。横穴式石室の中に箱式石棺（1.5×0.6m）。昭和32年（1957）に崖崩れのため平地に移す。
	26	栃谷2号墳	古墳時代の古墳。円墳、径6m。
	27	栃谷3号墳	古墳時代の古墳。円墳、径6m。
	28	栃谷4号墳	古墳時代の古墳。円墳、径6m。
城館跡・寺社跡	29	おどろが城跡（栃谷城跡）	中世の城館跡。堀切・郭跡が残る。城は主郭は比較的広いものの、各曲輪群は小規模で、全体的には室町期の様相を呈しているが、戦国期に主郭土塁や堀切・塹堀や塹堀による補強・改修が加えられている。規模的には小国人クラスの城郭と考えられ、江戸期の二次資料によると塩冶氏とされる。

■ 記念物／動物・植物・地質鉱物

分類	番号	名称	概要
植物	30	栃谷巖島神社社叢	標高20mにある。高木層はスダジイが優占し、最大のものでは胸高直径133cm、高さ13mに達する。亜高木層には、タブノキ、ツバキ（ヤブツバキ）、モチノキ、イヌシデなどが見られる。低木層には、アオキ、ヤツデ、ヒサカキ、アセビ、ツバキなどが茂る。

自治会の区域における歴史文化・文化財の記録作成等の取組

・『栃谷村の歴史散歩』（平成16年5月、栃谷村編）

